

エチゼンインヨウ

Hibanobambusa kamitegensis M. Kobay. & Wakasugi
イネ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅰ類

【環境省カテゴリー】—

選定理由

全国的にも県内の1箇所のみ、生育数も多くはない。本県がタイプ産地。

分 布

全国でも1箇所のみしか確認されていない。県内分布は福井市。

種の特徴

インヨウチクに比べ葉身は短く、幅が広い。稈鞘にはうっすらと逆向短毛が生じ、まばらに開出長毛がある。葉鞘には脱落性の開出長毛がある。葉鞘の上縁は斜上。葉耳は鎌形。葉下面は無毛だが葉脚部の中肋や側脈に沿って短毛がでる。

生育を脅かす要因

生育地が里地・里山であり、旧町道の近くであるため、開発の影響を受けやすい。

参考文献 福井県植物研究会（2001）、若杉孝生（2003）、若杉孝生（2011）、福井総合植物園（2011）、小林幹夫・若杉孝生（2012）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市	
																		○

ツメレンゲ

Orostachys japonica (Maxim.) A. Berger
ベンケイソウ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅰ類

【環境省カテゴリー】準絶滅危惧

選定理由

県内ではごく稀に見られるが、生育地、個体数ともに少ない。

分 布

本州～九州に分布。県内では大野市、坂井市、越前市、高浜町で記録がある。

種の特徴

岩上や尾根上等に生える。葉は多肉質で披針形、長さ3～6 cm、幅1～1.5 cm、ロゼット状につく。やや赤味を帯びたり、白粉を帯びることがある。茎の高さは5～15 cmになり、中ほどより総状花序となり、小白花を多数つける。小花柄は短く、花弁は5個、披針形で鋭頭。

生育を脅かす要因

生育環境の破壊、園芸採取等。

参考文献 林弥栄・平野隆久（2013）、矢原徹一ほか（2015）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
			○								○	○				○	

メガルカヤ

Themeda triandra Forssk. var. *japonica* (Willd.) Makino
イネ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅰ類

【環境省カテゴリー】—

選定理由

県内では生育地、個体数ともに少ない。

分 布

全国分布は、本州～九州。県内分布は福井市、大野市、坂井市。

種の特徴

高さ70～100 cmほどになる。低山地や丘陵等に見られる。葉は広線形、長さ30～50 cm、幅3～8 mm。葉の下部には長白毛が散生する。花序は茎の上部の葉腋につき、花穂は6個の小穂からなり、うち1個は雌性、他は雄性。

生育を脅かす要因

開発や植生遷移による生育環境の悪化。

参考文献 佐竹義輔ほか（1982a）、林弥栄・平野隆久（2013）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
											○					○	○